

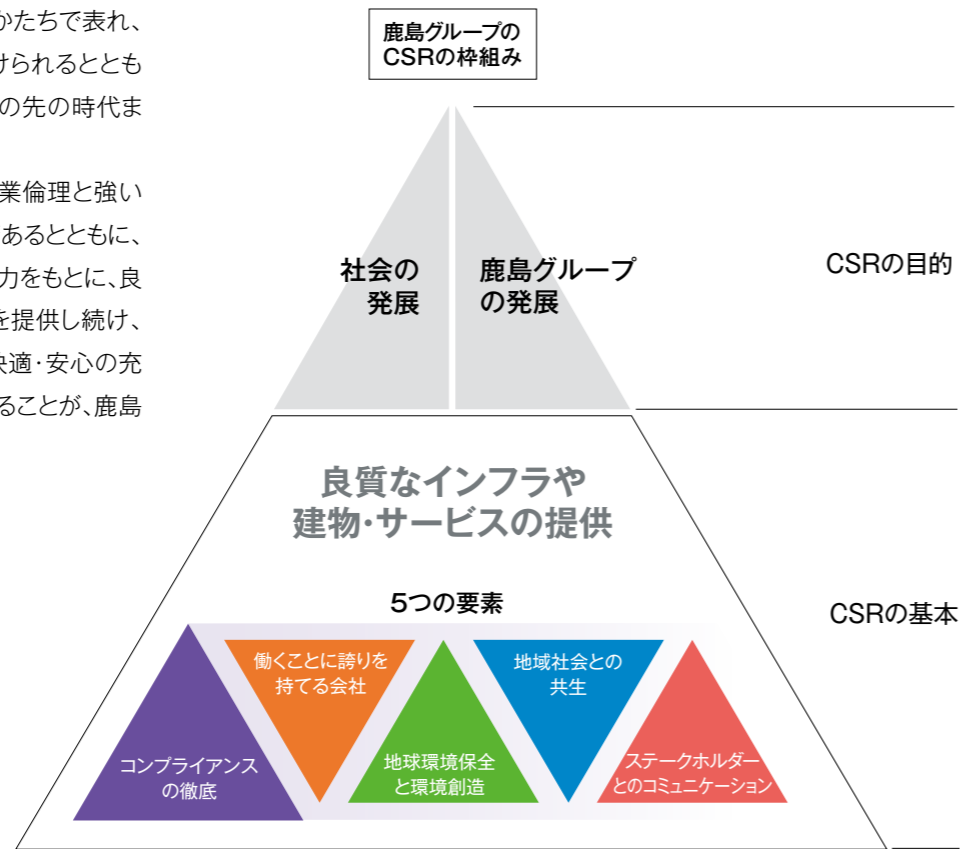
鹿島グループが実践するCSR

建設業の成果は長い期間にわたって直接社会や人々の生活を支えるものであり、社会や顧客の持続的な信頼のもとに、社会の持続的な向上と建設業、ひいては当社の安定的な発展を共存させていくことが鹿島のCSRの実践で目指すものです。

CSRの理念

建設業の仕事は、公共性が高くプロセスから結果に至るまで常に目に見えるかたちで表れ、社会や顧客との共生と位置付けられるとともに、時代を超えて次の世代やその先の時代まで責任を担っています。

このため何よりもまず高い企業倫理と強い使命感に貫かれた誠実な企業であるとともに、たゆまぬ研鑽による高度な技術力をもとに、良質なインフラや建物・サービスを提供し続け、社会への貢献と、顧客の利便・快適・安心の充足を通じて持続的な評価を受けることが、鹿島のCSRの原点です。



5つの基本要素

コンプライアンスの徹底

建設業界が「貢献度は高いが、好感度は低い」との評価を受けてきたことは事実ですが、一方で長い年月、社会や人の生活を支える仕事の責任の重さを感じる時、企業への信頼の大切さを改めて認識しています。コンプライアンスの徹底とは、諸法令の遵守は当然として、さらに高い企業倫理に貫かれた誠実な企業を社員一人ひとりが目指すことです。

働くことに誇りを持てる会社

建設業は、多くの職種の協力会社の人々と一体となって工事の完成を目指して努力しており、まさに一人ひとりの能力が財産と言えます。多くの人々が働く現場が、安全で相互に信頼し合え、かつ私たちの仕事が社会を支えているとの使命感に満ちた「働きやすく誇りある」現場であるよう、環境の整備と意識の啓発に努めています。

地球環境保全と環境創造

建設業は資源多消費産業であり、自然環境に手を加えることが多い産業です。環境に対しては常に感度が高く、礼儀正しい企業でありたいと思っています。地球環境の保全は「次世代への責務」と考え、顧客への前向きな企画提案とともに、日々の事業活動における環境負荷の低減に注力していきます。

地域社会との共生

建設業は、工事の近隣を含む地域社会の理解と協力なしには円滑な事業遂行ができません。なお、自然災害大国の日本において、自然災害発生時における主体的役割や、備えも建設業に期待されるCSR活動の例です。

ステークホルダーとのコミュニケーション

建設業界はこれまで社会的使命や日々の事業活動について、必ずしも積極的に社会に対して発信してこなかった部分があります。誠実な情報発信もまた企業への信頼の基本であることをふまえ、社会への関心と貢献に関してもっと積極的かつ熱心に情報発信を行い、多様なステークホルダーとのコミュニケーションを図っていきます。

5つの要素	2009年度		2010年度目標
	主な実績	掲載ページ	
コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ガバナンスの基本方針に則った経営を展開 情報セキュリティをはじめコンプライアンスの教育を通して社員の行動に反映させた 	P16~18	<ul style="list-style-type: none"> グループ一体となったガバナンスを徹底する コンプライアンス・リスクマネジメントを徹底する
働くことに誇りを持てる会社	<ul style="list-style-type: none"> OJTとOffJTを組み合わせた社員の育成を継続した ワーク・ライフ・バランスの推進により現場異動時休暇の取得率上昇 現場での災害発生件数が前年度比約40%減少(95→59件) 	P19~28	<ul style="list-style-type: none"> 技術者の育成を継続する ワーク・ライフ・バランスの推進 死亡・重篤・重大災害“ゼロ”
地球環境保全と環境創造	<ul style="list-style-type: none"> 中期目標に沿って重点課題ごとに展開した 第1回生物多様性日本アワード受賞 	P29~38	<ul style="list-style-type: none"> 中期目標2年目として、重点4課題の目標を達成する
地域社会との共生	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会の一員としてコミュニケーションの場を設けた 	P39~44	<ul style="list-style-type: none"> ステークホルダーとの良好な関係を構築する 次世代に向けて建設業の魅力を発信する
ステークホルダーとのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 社内で2回「CSR報告書を読む会」を開催し、全社員アンケート実施 各方面のステークホルダーに向けた確に情報を発信するためHPを改編 	P45~49	<ul style="list-style-type: none"> 社内でCSR報告書を読む会の開催と社員向けアンケートを継続する 各方面のステークホルダーに随時情報発信を行う

鹿島のCSR推進体制

鹿島は「社業の発展を通じて社会に貢献する」と経営理念に謳っているように、高品質な建物・サービスの提供を積み重ねることで、安全・安心・快適な社会を創造し、様々なステークホルダーの要望にお応えしていると考えています。鹿島グループにおけるCSRの推進・展開は特定部署ではなく、役員・社員が各部署・各業務のプロセスにおいてCSRの基本要素を認識し、実践するものと捉えています。この考えに基づき、2006年に発足したCSR推進室はその役割を終え、現在はCSRに関する情報発信を中心とした業務は広報室CSRグループで担っています。

社内アンケート実施（詳細はP.47を参照）

